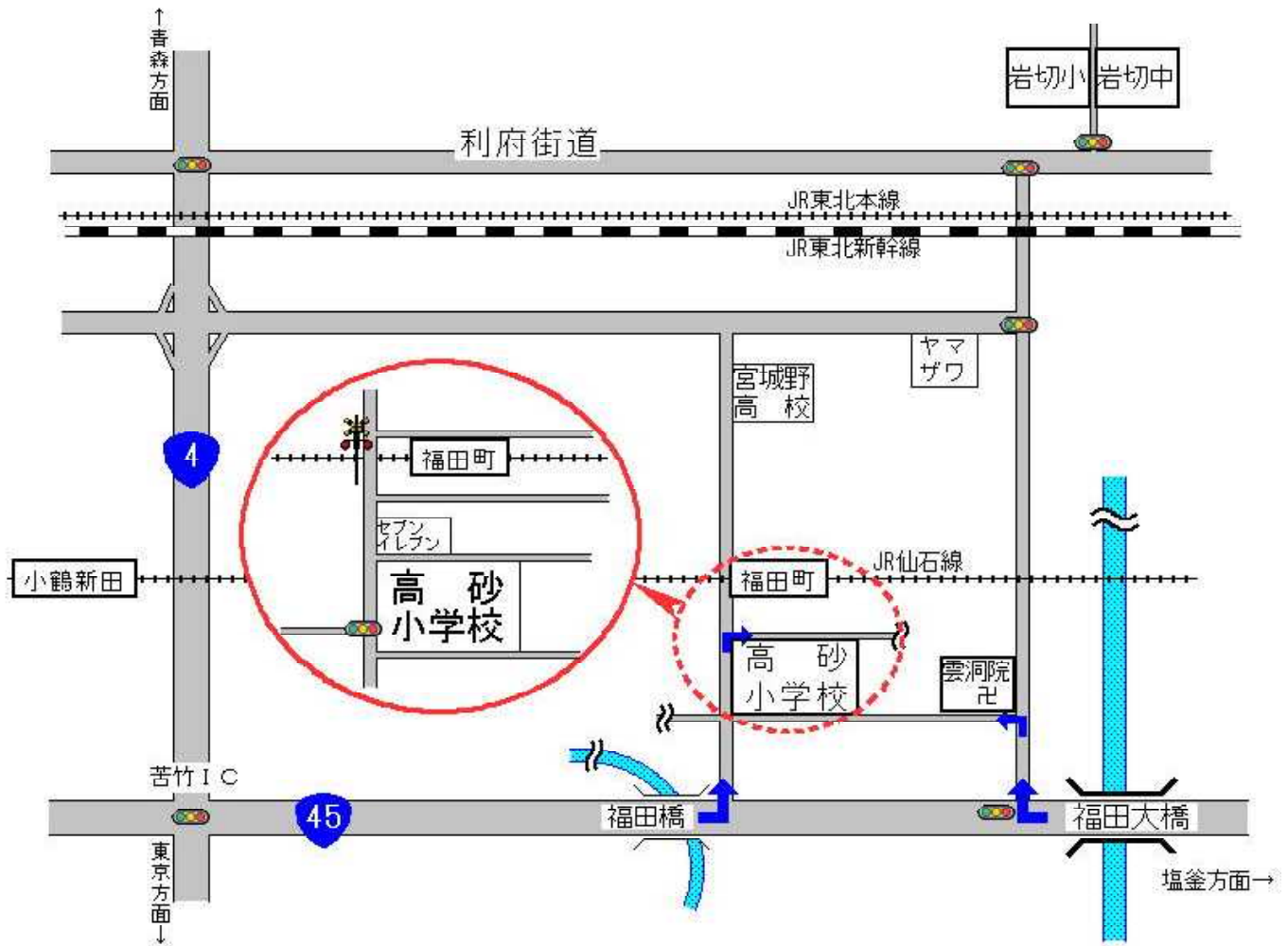


はぐくみ教室要覧



交通案内

- J R 仙石線 福田町駅下車 徒歩2分
- 市営バス 福田町停留所下車 徒歩5分
 「蒲生行き(中野新町), 高砂市営住宅西行き, 仙台駅前バス乗り場50」
- 自家用車 仙台方面から…国道45号線 福田橋左折100m
 多賀城方面から…国道45号線 福田大橋通過後福田町交差点右折→雲洞院左折
 田子方面から…宮城野高校西側市道を南進, JR仙石線踏切を渡りセブンイレブン左折

仙台市立高砂小学校

〒983-0023

仙台市宮城野区福田町1-11-1

電話 022(258)1088

FAX 022(258)1520

～通級制の教室です～

普段は在籍している学校（学級）で過ごし、決められた曜日・時間に通級してそれぞれの課題に応じた学習をします。

※通級指導校は、在籍校からの距離や指導校の受け入れ人数等を勘案して、仙台市教育委員会が決定します。

※他校からの通級の場合、原則として保護者の送迎が必要です。

※通級指導教室に通う時間は授業時間とみなされるので、在籍校で出席扱いとなります。

※通級にかかる交通費は通級回数に応じて支給の対象となりますので、在籍校で手続きをしてください。

（児童分の経費のみで自家用車も可）

生活時程

（他校通級児童用）

朝の活動	8:30～ 8:45
1校時	8:45～ 9:30
2校時	9:35～10:20
3校時	10:45～11:30
4校時	11:35～12:20
給食	12:25～13:10
5校時	13:45～14:30
6校時	14:35～15:20

※高砂小の児童は学校の時程です。

～このような学習をします～

- ・対人関係に必要な基礎的な力の育成
 - ・状況の変化への適切な対応の習得
 - ・コミュニケーション能力の向上
 - ・運動機能の協応性、巧緻性の改善
 - ・漢字等、文字の覚え方
 - ・計算方法、文章題の考え方
 - ・社会的スキルの向上
 - ・情緒の安定、心理的不適応の改善
 - ・認知機能の改善、概念の習得
 - ・生活リズムや生活習慣の形成
 - ・作文の書き方、書く内容の考え方
- 等

※「自立活動」の学習が中心です。単に教科学習の遅れを補充する時間ではありません。本人の状態や課題に応じて、教科学習の内容の一部を取り扱います。

～学習方法は～

※通級の回数は週平均1時間（他校からの通級の場合は、週1回、2時間）程度で、それぞれの児童の状態に応じて決めます。

※個別指導中心での指導となります。（小グループの場合もあります。）

※年間を通じていつでも通い始めることができ、状態に応じていつでも終了できます。本人の状態に応じて学校や保護者と相談連携の上、終了時期を決定します。

～通級指導教室での指導を受けるには～

在籍校の担任、特別支援教育コーディネーター、教頭などに相談



仙台市の「就学支援委員会」で審議し、「通級適切」と判断される



通級開始

※お子さんの状態によっては、通級の対象にならない場合があります。

※審議日が決まっているので、

申し込みから決定まで2か月ほどかかります。

LD・ADHD等通級指導教室の教育目標

(はぐくみ教室)

- ①児童の「よさ」を生かしながら、情緒の安定や自信を育て、調和的な発達を促す。
- ②状態の改善や困難の克服に主体的に向かうことができるようにする。

一人一人のニーズを考えながら、例えば次のようなことをねらいとする。

- ・よりよい人間関係の作り方を学ぶこと
 - ・状況の変化に適切に対応する力を身に付けること
 - ・情緒の安定を図ること
 - ・困難な状態に対処する力を身に付けること
 - ・コミュニケーションの方法を様々な場面で学ぶこと
 - ・自分に合った学習スタイルや生活習慣を整えること
 - ・自分自身をよりよく理解していくこと
- など

～このようなお子さんが通っています～

①学習や生活場面で

- ・得意な部分は年齢相応にできるのに、聞く、話す、読む、書く、計算する、推論するなどの特定の学習が身に付かず、困っている。
- ・年齢には不釣り合いな間違いが多い、忘れ物が多い、整理整頓ができないなど、日常生活で困っている。
- ・集中して学習に取り組むことができず、日常の学習場面で困っている。
- ・運動や動作が非常にぎこちなく不器用で困っている。
- ・自分の気持ちや状況の説明など、人に伝えることが苦手で困っている。

②対人関係や集団参加場面で

- ・人とのかかわりや、その場の雰囲気に合わせて行動が苦手で困っている。
- ・友だちとけんかやトラブルをおこしてばかりで困っている。
- ・自分の気持ちをコントロールすることが苦手でなんとかしたいと思っている。
- ・物事に順応するまで時間がかかり、困っている。

次のア～ウの要件を満たし、保護者が通級を希望している場合となります。

ア 知的な発達が標準範囲にあり小学校の通常の学級に在籍している。

イ LD, ADHD, 高機能自閉症, アスペルガー症候群及びそれに類する(疑いも含む)ことのために学習面や行動面において様々な課題を抱え、学級集団の中で不適応状態にある。

ウ 仙台市就学支援委員会(LD・ADHD等部会)で「通級適切」と判断された。

～学習のようす～



〈iPad を使った漢字調べ〉



〈吹き独楽作り〉



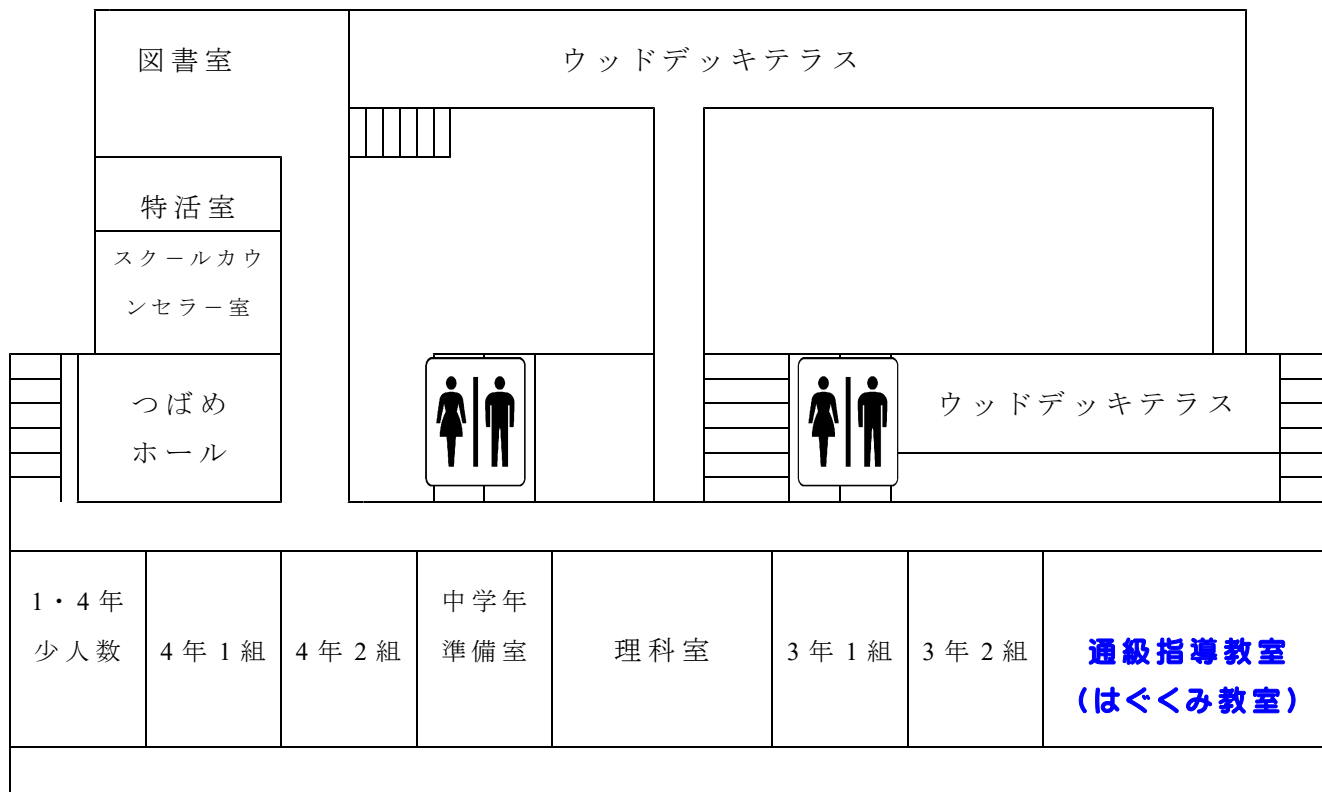
〈バランスを取り協力して



〈SST:よく考えよう〉

ボールから落ちないように〜〉

教室配置図（3階）



《通級指導教室》

待合室



指導室1 学習, 相談



指導室2 学習, 相談



通級する児童の個別指導
保護者との教育相談

《プレイルーム》

プレイルーム

運動やリラクゼーション

